

第26章 内装改修工事

第1節 共通事項

26.1.3 他の部位との取合い等

(2) 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲は、次による。

- ・
- ・

(3) 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲は、次による。

- ・
- ・

(5) 既存天井の撤去に伴う取り付け部の壁面の改修は、次による。

- ・
- ・

26.1.4 工法

(1) 既存の床、壁及び天井の撤去は、次による。

- ・

(2) 新設の床、壁及び天井の下地は、次による。

- ・

(3) 仕上げは、次による。

- ・

第2節 既存床の撤去及び下地補修

26.2.2 工法

(1) 既存床仕上げ材の除去等

ア(ウ) ビニル床シート等の浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去は、次による。

- ・ 図面による。
- ・

イ 合成樹脂塗床材の除去工法は、次による。

- ・ 機械的除去工法
- ・ 目荒し工法

(3) 改修後の床の清掃範囲は、次による。

- ・ 図面による。
- ・

第3節 既存壁の撤去及び下地補修

26.3.2 工法

(1) オ 間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修は、次による。

- ・

第7節 軽量鉄骨壁下地

26.7.3 形式及び寸法 (14.5.3 形式及び寸法)

(1) 種類、スタッドの高さによる区分等は、次による。

種 類	スタッドの高さによる区分	備 考
・ 50 形	高さ 2.7m以下	
・ 65 形	高さ 4.0m以下	
・ 90 形	高さ 4.0mを超え 4.5m以下	
・ 100 形	高さ 4.5mを超え 5.0m以下	
・	高さ 5.0mを超える場合	図面による。

第27章 塗装改修工事

第1節 共通事項

27.1.3 材料 (18.1.3 材料)

(1) 接着剤のホルムアルデヒド放散量は、次による。

・

(5) 塗料は、トルエン等の含有量の少ない水性形のものを原則とするほか、図面（仕上表等）による。
また、「1.4.1 環境への配慮」による低 VOC 塗料は、次による。

ア 建築物内装用の塗料は、有害金属類を添加していない塗料であって、VOC 含有量 1 %以下（鉄部用は 5 %以下）の水性塗料であること。

イ 建築物外装用の塗料は、有害金属類を添加していない塗料であって、従来の溶剤型塗料と比較し VOC 含有量を低減した塗料であること。

塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとる。また、施工時及び施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させるものとする。

第2節 下地調整

27.2.1 施工一般

既存塗膜の除去範囲は、次による。

・

27.2.7 セッコウボード面及びその他ボード面の下地調整

セッコウボード面及びその他ボード面の下地調整の種別等は、次による。

種 別	施工部位及び塗料の種別
・ R A 種	
・ R B 種	
・ R C 種	

第10節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）

27.10.2 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

(1) 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別等は、次による。

種 別	使用箇所
・ A種	
・ B種	
・ C種	

(2) 塗替えの場合のしみ止めは、次による。

- ・